

電気通信工事業における階段、栈橋を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
7	19～20	2階の事務所から1階へ下りる階段（手摺り、滑り止め装備）の左側から1つ目の踊り場へ下り、2つ目の踊り場から1階への階段1段目を下りた付近で、ふとした拍子に体勢を崩し、尻もちをついた。	54	100～299
9	10～11	会社敷地内（駐車場）でアウトリガーを出して停めてあった重柱車を作業先で使用するため操作部に昇って、アウトリガーを格納し、操作部より降りる際に、左手をタラップの端に掛けたが、手が滑り約1.5m下の地面に墜落し、右肘・右肩、腰を骨折した。	60	30～49
9	14～15	自社事務所前の三段階段で足をすべらせて転倒した際、左足を強打してじん帯が切れてしまった。（当時雨が降っており足元がすべりやすい状態であった。）	24	30～49
11	16～17	自社電気工事において、資材を持ち、階段を下りていたところ、足を滑らせ、2階から1階まで階段を滑り落ち、左右手首骨折、打撲をした。	42	10～29
11	15～16	資材の搬出作業で現場階段を2Fから1Fへ降りる際に、最後の1段を誤って、バランスを崩し、よろけてそこに組まれていた足場鋼管に左脇をぶつけた。	57	30～49
12	18～19	社屋入口と駐車スペース間の段差がある所で、ふらつき倒れる際に車に頭をぶつけ、右肩を下にして倒れた。	41	1～9

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)